

## 市：住民主体の自治会

- ・住民が何でも意見を言える。
- ・自治会全体で解決する。
- ・市民が主人公のまちをつくる。

## 能：能力、技術者の人材バンク

- ・能力、技術のある方がたくさんいる。パソコンが使える人、家具の修理ができる人、デザインができる若者等。自治活動の中で活用しようとする人材バンクをつくった。現在37名が登録。でも個人登録が難しく、住民の口コミで登録者を増やしていった。

## 工：工夫、アイデアで企画運営

- ・電球を自治会でまとめて安く購入し、高齢世帯等に割安で提供し、交換を請負う。
- ・高齢者世帯の安否確認のためにどのような工夫ができるかを検討。電気、ガス、水道や新聞配達の各事業者と連携し、異常があればすぐに自治会事務所にお知らせいただくシステムをつくった。
- ・住民にアンケートを実施。不安に思うことの1位が葬儀のことだった。自治会で検討

し、自治会が葬儀一式をお手伝いすることができるようになった。同じ自治会の仲間による心のこもった葬儀が実現した。

- ・違法駐車を撲滅するため、住民のパトロール隊を結成。最初は車の使用者との間でひどいトラブルとなった。アイデアを出し合い、外来者用の駐車場を確保。草刈りや整地等、住民の手で管理、運営を行っている。
- ・防災訓練を工夫し、体と頭を使った防災ウォークラリーを開催。団地の敷地が広く、団地内の様子を知らない人もいる。団地内を歩いてまわり、8力所で防災クイズを出題。家族、隣近所の友達同士等、災害があつた時を想定し、できるだけ身近な人とチームで参加することを呼びかけた。

## 商：コミュニティビジネスで有効活用

- ・行政から駐車場管理や公園管理を受託。そこで得た資金は、登録した高齢者が行う団地内の維持管理作業のアルバイト代に充て、住民へ還元している。

・お金の使いみちは全て公開。透明性が大切。

## 言葉ひとつが人の心を動かすこともある

- ・特に役員は、人の悪口・批判をして、心を傷つけるようなことをしてはいけない。
- ・言葉ひとつが心に響くこともある。すばらしい数多くの出会いがあつた。

## 一人ひとりを大事にする姿勢が大切。自治会最大のメリットは仲間をたくさんつくれること

- ・一人でも多く交流を深めていくことが、まちおこしにつながる。

などなど：佐藤さんのお話は尽きません。地域での活動を熱く語る佐藤さんのパワーに圧倒された90分となりました。

住民同士のきずなが希薄になつていけると言われる今、様々な工夫をしながら、人のつながりに重点を置いた活動を展開する大山自治会の取組みは、参加者からも「大変参考になつた」との声をいただきました。

## 羽村市の町内会の取組みも発表されました

☆本町第一町内会「地域のきずなを育む ふれあい農園」

・地域の子供たちが夢中になつて遊べる場所を作りたいとの想いから始まった活動。

世代間の交流を通じて、次世代を担う子供たちに「人と人とのきずな」の大切さを身をもって体験してもらいたい。そのため「思いっきり遊ぶことのできる場所」を地域のみんなで協力して作り上げるといふ、とても夢のある取組みを発表していただきました。

☆田ノ上第三町内会「防災部の活動」

・昨年の防災訓練の際、地域の安全を守る自主防災組織として、消防署と連携して、市内初の発災対応型防災訓練を実施。「自分たちの地域は自分たちで守る」という町内会防災意識の高さ、会員の団結力の強さが伝わってくる事例でした。

※この講座の資料を閲覧できます。詳しくはセンターへどうぞ。

## 「きずな」を通じて発信しませんか？

ボランティアをはじめ、社会貢献を目的とする様々な市民活動を紹介していきます。「活動の場を広げたい」「ボランティアを探している」「仲間を募って活動を始めたい」など、紙面を通じて広く市民に呼びかけるお手伝いをさせていただきます。お気軽に市民活動センターまでご連絡ください。

## 今後の「きずな」の発行予定について

「きずな」は奇数月の15日（年間6回）に発行しています。「団体のひろば」に掲載を希望する団体は、各発行日の1カ月前までに市民活動センターへお申し込みください。（15日が休業日の場合、その前日が締切日になります。）なお、掲載は先着順となっておりますので、あらかじめご了承ください。